

平成 26 年度職員採用試験（大学卒業程度）  
水産 専門記述試験（26. 6. 22）

次の 2 つの課題のうち、いずれか 1 つの課題について答えなさい。

＝ 課題 1 ＝

○これからの水産物の消費拡大について

国内の 1 人当たりの魚介類消費量は、平成 13 年から平成 23 年までの約 10 年間で約 29% 減少しています。魚介類の摂取量は全世代で減少しており、平成 18 年には初めて肉類に逆転され、その差は年々拡大しています。一方、「あなたは魚介類を食べるのが好きですか」という質問に対し、約 86% の人が好意的に答えており、魚を好きで食べたい人は多いものの、それが消費に結びつかない状況になっています。

また、本県特産の養殖かきについても、家庭でのかき消費量は、10 年前の 7 割に減少し、用途別のかき出荷量も、生鮮向けから冷凍カキフライなどの原材料となる加工向けへの出荷割合が増加する傾向になっています。

このような状況の中、水産物を生産供給する立場から、水産物の消費拡大を図り、安定した漁業経営を実現するためには、どのような取組を進めたらよいかあなたの考えを述べなさい。

＝ 課題 2 ＝

○漁業秩序維持と漁業資源の管理について

本県では、漁業秩序を維持するため、次の仕様の取締船による漁業取締を実施しています。本県海域は狭隘で、船舶航行も多い状況にあります。

このような海域での取締船の運航や機関整備に関して注意すべき事項を述べるとともに、適切な水産振興を図り、漁業資源を維持・管理していく上で漁業取締はどのような役割を果たすべきか、あなたの考えを述べなさい。

【参考】

取締船の主要目

①船体

アルミニウム合金製 ステップ船首月ディープVオメガ型  
全長：20.71m 幅：4.60m 深さ：2.26m  
総トン数 29トン

②主機関 単動4サイクル直接噴射式ディーゼル機関 2基

③性能 航海速力 35ノット以上

④船種 第4種船 航行区域 平水区域